



な ぎ ちょう
奈 義 町

3月議会

議会だより

桜・菜の花・春うらら これから新緑に

174号

【おもな内容】

令和7年5月1日発行

発行 奈 義 町 議 会
編集 議会広報委員会

〒708-1392

岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1

☎(0868) 36-4191

- 3月定例会で決まったこと 2～3ページ
- 予算審議と予算特別委員会の報告について 4～5ページ
- 総務常任委員会、まちづくり常任委員会、特別委員会 6～7ページ
- 一般質問（7名） 8～14ページ
- 政務活動費報告、議会構成、議長・副議長のあいさつ、編集後記 15～16ページ

について 賛成討論3人

令和7年第1回定例議会が3月5日から21日まで開かれ、**条例**16件、**補正予算**8件、**当初予算**10件、**同意**2件、**選任**3件、**選挙**4件、**決定**1件、**報告**1件、**廃止**1件、**請願**1件、**その他**5件の合計52件を審議しました。

《 条例 》 16件

議 案	概 要 と 質 疑 等	審議の結果
放置車両の適正な処理に関する条例	地域の安全で快適な生活環境の保全を図るため、町有地等に放置された車両の適正な処理に関し、所有者への通知や車両の処分等必要な事項を定めるもの。 Q 車両が放置されている期間について、基準はあるのか。 A 行政処分であるので、1ヵ月程度と考えている。	全員一致で可決
森林整備促進条例	森林保全のための基本理念を掲げ、町、所有者、事業者等の役割を明確化するもの。また、森林所有者から森林寄附の受付や協働による森林整備等について定めたもの。 Q 政策実施に必要な財政措置とは。 A 町としては基金の活用を考えている。	全員一致で可決
町営さと丸乗り合い交通条例の一部を改正する条例	コロナ渦より行っていた町内利用者の料金割引き（1乗車につき100円）について今後も継続していくとともに、運転手による乗客への指導規定を追加するもの。 Q 指導規定を追加したが、実際にそのような事案があったのか。 A そのような事実はない。	全員一致で可決
放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例	放課後児童クラブの実施場所を旧奈義保育園へ移すことに伴い、所要の改正を行うもの。	全員一致で可決

その他、12件の条例について慎重に審議し、全員一致で原案通り可決した。

《 補正予算 》 8件

議 案	概 要 と 質 疑 等	審議の結果
令和6年度一般会計補正予算（第7号）	歳入歳出予算の総額から275,000千円を減額し、総額を7,035,000千円とする。 反対討論 森藤議員／ALTの財源に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金を使うこと、デニムの上着の補正予算がないことは納得がいかない。 賛成討論 中井議員／大部分は年度末の調整であり、ALTの財源を含め問題ない。	賛成7、反対2で可決
令和6年度一般会計補正予算（第8号）	総額に変更はなく、繰越明許費を2件追加する。ゴツガツボ線改良事業費31,000千円、緊急自然災害防止対策事業費19,500千円。	全員一致で可決

その他、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など6件の補正予算について慎重に審議し、全員一致で可決した。

3 月 定例議会

令和 7 年
3 月 5 日～21 日

令和 7 年度一般会計予算 反対討論 2 人

《 当初予算 》 10 件

議 案		審議の結果
令和 7 年度 一般会計	【討論あり／詳細は 4 ページ、5 ページ】	賛成 7、反対 2 で可決
令和 7 年度 特別会計	国民健康保険、豊並財産区、分譲地造成、柿財産区、 介護保険、後期高齢者医療	全員一致で可決
令和 7 年度 公営企業会計	上水道、工業用水道、下水道	全員一致で可決

《 同意、選任、選挙、決定 》 10 件

種 類	議 案	審議の結果
同 意	農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	全員一致で同意
	監査委員の選任につき同意を求めることについて	全員一致で同意 岡部英生（議選）

※選任、選挙についての詳細は15ページ参照

《 報告、廃止、請願、その他 》 8 件

種 類	議 案	審議の結果
報 告	こども園・中学校調査特別委員会の報告について	報告受
廃 止	こども園・中学校調査特別委員会の廃止について	全員一致で可決
請 願	「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を 求める請願 反対討論 上原議員／人口流出を止めることには繋がらず、 公費投入は税の公平性を失わせる。 中井議員／倒産する会社を生み、労働者の暮らし を守り日本経済を回復させることにはならない。 賛成討論 森藤議員／国が援助することとセットで、全国 一律の最低賃金制度が必要だ。	賛成 2、反対 7 で不採択
そ の 他	奈義町診療所奈義ファミリークリニックの指定管理者の指 定について	全員一致で可決
	奈義中央浄化センター等の指定管理者の指定について	全員一致で可決
	定住自立圏形成協定の変更について	全員一致で可決
	奈義町まちづくり総合計画並びに奈義町まち・ひと・しご と創生総合戦略について 反対討論 森藤議員／人口維持が大きな理念となっ ているが、この事業は達成困難である。	賛成 8、反対 1 で可決
	所管事務等の調査について	全員一致で可決

令和7年度一般会計予算審議

活発な討論を実施

賛成－7（野々上美智明、定森久芳、須一玲子、中井泰洋、岡部英生、小阪四郎、上原伸介）

反対－2（芦田元、森藤政憲）

一般会計予算審議では、討論が活発に行われました。
以下、5人の議員の討論要旨を紹介します。

反 対 討 論	賛 成 討 論
■芦田 元 議員 今年度の英語指導助手は、奈義町の任用職員に採用する。人件費は330万円／人。別に派遣元の企業に業務委託料として363万円／人で総額約4300万円。委託の内容が不明確でその予算に納得できない。 また国際交流の渡航旅費について協定の具体化もできていない状況で、交流渡航できる段階でない。	■野々上美智明 議員 1点目は、一般会計年度当初予算の性格から、予算中のいくつかの事業の適否のみをもって判断すべき性格のものではなく、大局的立場に立って町の継続的な行政運営のため、可決成立させることが必要だ。 2点目は、内容において、議会での過去の審議や一般質問を通じて必要とされた事業も網羅されており、問題ない。
■森藤政憲 議員 令和7年度新規事業で町民の暮らし応援の施策が見当たらない。地方創生事業は事業委託費が多く、その先の業者の選考や事業費の中身が分からなくなる。ALT事業は町民の理解は得られない。山の駅での国際交流事業については、先が見通せない。 賛成の部分もあるが、全体として、賛成できない。	■上原伸介 議員 何点かの指摘箇所はあるが、『将来の奈義町像』に照らし合わせ、総括的に判断すると、決して『反対するほどの内容』に零落するものではない、と判断し賛成する。 一方で、「不安」が残る箇所があることも事実であり、予算の執行にあたっては、議会への『詳細説明』や『経過報告』等を強く要望する。
	■定森久芳 議員 ALTの業務委託料、議員全員のフィリピンへの渡航費については反対だが、町の発展や住民サービスの向上につながる重要な施策が多く含まれるため、賛成する。

予算特別委員会報告

定例会初日の5日に本会議で付託を受け、3月11日、12日、18日に委員会を開催した。委員長に小阪四郎議員、副委員長に定森久芳議員を互選した。

主な質疑は以下のとおり。

一般会計

問：ラジコン草刈り機は共通のものを考えているのか。

答：予算要求が一番高い機種で行っているが、機種選定の際には、地元の要望等を確認することも必要と考えている。

問：山の駅について、売上増には民間の考え方を入れる必要もあるのではないか。

答：経営コンサルタント等を雇うことをせず、職員の中で知恵を出して基本を大事にしながら磨き上げをする。

特別会計・公営企業会計

問：豊沢住宅跡地の分譲地、賃貸住宅等の住宅政策の検討はどうなっているか。

答：検討委員会から「もりのあそびば」というコンセプトをいただいた。住宅と「もりのあそびば」を配置した有効な使い方を検討したいと考え、7年度の予算に計画している。

令和7年度 予算の特徴

一般会計当初予算は、67億円

■一般会計の歳入の主なもの

※町民5,492人（令和7年3月1日現在）

項目	予算額	構成比（％）	町民1人当たり
税収	7億7,655万円	11.6	14.1万円
町債	10億4,030万円	15.5	18.9万円
地方交付税	23億0,000万円	34.2	41.9万円

■一般会計の性質別歳出の主なもの

項目	区分	予算額	構成比（％）	町民1人当たり
義務的経費	人件費、扶助費、公債費	19億7,463万円	29.5	36.0万円
消費的経費	物件費、補助費等維持補修費	29億6,786万円	44.3	54.0万円
投資的経費	普通建設事業費、災害復旧費	9億1,383万円	13.6	16.6万円

※万円未満四捨五入

委員会報告

総務常任委員会

総務常任委員会は、総務課、税務住民課、こども・長寿課、出納室、学事課、生涯学習課、学芸図書課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：森藤政憲 ■副委員長：野々上美智明 ■委員：岡 立・小阪四郎・芦田 元

【総務課】

さと丸バスの料金について

Q 基本料金を下げるのか、割引を恒久的に規定したのか。

A 規則の中で一回100円、往復200円とする。

【総務課・学事課】

こども園の退職者について

Q こども園の会計年度任用職員に退職があると補充が必要となるが、現状は。

A 基本的にはうまくいっているが、園児の人数により補充が必要になるかもしれない。

【税務住民課】

共同墓について

Q 他の墓地から共同墓に移す場合は、墓じまいすることが前提になるのか。

A 申し込みは、改葬許可証が必要となるため、墓じまいが前提となる。



共同墓の予定地

【こども・長寿課】

やまびこ荘について

Q やまびこ荘の利用者が減っていると聞かされたのか。

A 確かに利用者が減っている。社協や地区とも協議し今後のあり方を検討している。

【学事課】

部活動の地域移行について

Q 地域移行に伴い部活動はどうなっていくのか。

A 現状ではあまり進んでいない。複雑な問題があり、まだ方針については、はっきり言えない。

まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会は、情報企画課、未来創造課、産業振興課、地域整備課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：中井泰洋 ■副委員長：須一玲子 ■委員：上原伸介・岡部英生・定森久芳

【情報企画課】 豊沢住宅跡地について

Q アートエリア整備の内容は。また、単身者用の住居も考えるべきではないか。

A 一部をアートエリアとして調査設計を行いたい。アートと文化、住宅で設計し、若い人に魅力あるまちづくりにしたい。

【未来創造課】 ふるさと納税返礼品について

Q 新たな返礼品開発の方向性は。農業・アート体験を返礼品にできないか。

A 実際に来て、体験してもらう返礼品があってもいいと思う。

【産業振興課】 農作物の振興について

Q 米、黒大豆の振興策は。

A 米をできるだけ生産してもらい、ふるさと納税の返礼品として農家を支援していきたい。
黒大豆は、特産品としてなくせない。町単独で補助をするので協力していただきたい。



黒大豆と米のお土産

【産業振興課】 山の駅について

Q 体制が少し変わることについて、町民の意見を聞く場を設けたか。

A 町営で頑張るということで、大幅な変更ではないため理解してほしい。

演習場対策 特別委員会

■委員長：岡部英生
■副委員長：野々上美智明
■委員：その他議員 8 名

2月7日、例年の通り計画されている、令和6年度の米軍単独訓練について説明を受けた。

Q 那岐山麓山の駅の運営について

A 不退転の決意で取り組む



上原 伸介 議員

質問 以前、一般質問を行った際、山の駅については、赤字の改善に向けた運営の見直しを図るという答弁があった。そのうえで、指定管理や民間委託という方法ではなく、再び直営方式での運営に至った、その経緯を伺う。

答弁 町長 山の駅は奈義町の観光と特産物の情報発信を行う重要な拠点施設であり、単なる営利を追求するだけの施設ではない。公共でしかできない部分を重視し、直営体制で実施可能な手段を検討し、再挑戦することにした。

質問 仮に、従業員が足りない場合は、町の職員を充てるとの説明があった。本来であれば業務内容を知った上で、やりがいを持って働いてくれる人を募集・採用すべきと思うが、考えは。一般職員の負担にならないような体制を早急に整えていただきたい。

答弁 町長 会計年度任用職員

のやる気のある方も募集して、採用を予定している。



再建が望まれる那岐山麓山の駅

質問 町長から「赤字を出さない覚悟をもって挑む」という発言があった。では、赤字脱却のために、基本的にどのような戦略を立てているのか。

答弁 町長 まずは「公共の役割をしっかりと担う」ということ。フランスからの国際交流員を料理長に据え、様々な国の家庭料理を中心に、山の駅ならではの料理の魅力を展開していきたい。

また、「国際交流ステーション」という構想のなかで、地元の特産品を生かしながら、気軽に食事がとれる場にと考えている。

スタッフと共に、お客様目線でアイデアを考え、国際交流拠点として山の駅を活用していくよう考えている。あわせて、コテージのネット予約等による利便性の向上や、SNSを活用した情報発信にも取り組んでいきたい。



芦田 元 議員

Q 水田活用の5年ルールの見直し廃止の周知を

A 広く情報の周知を行う



水張り水田の状況

質問 国は9年度以降の水田活用について作物ごとの支援に転換するため水張りは求めない、廃止する。また7年度、8年度は、取り組み条件により水田活用交付金を認めることになった。については、生産に影響が出ないよう早急に情報発信を願いたい。

答弁 町長 町として現在の情報を奈義町アプリ、ホームページ等で広く周知を行う。

質問 自衛隊では演習場周辺の環境の保全に十分配慮し水質検査等を実施していると思うが農畜産物の安全面もある。町は水質検査や土壌測定の結果を把握し管理ができているか状況を知りたい。

Q 日本原演習場の環境把握は
A 年2回水質検査実施。都度、情報交換も



演習場の下流域に広がる田園

質問 フィリピンへの渡航計画が予算化されているが、今の状況は、直接の教育交流もできておらず、業者を通じての相手とのやり取り程度である。まず担当事務局が出向き、協議も行い、目的を明確化してからの渡航計画でいいのではないか。

答弁 町長 現地を見させていた。目標を立て計画的に行動していきたい。

Q フィリピンのボルボーン町との協定に基づく教育交流は
A 現地を見させていた。目標を立て計画的に行動していきたい

答弁 町長 自衛隊による年2回の検査結果の報告では、すべての箇所ですべての数値である。農畜産物の安全安心をPRできるように取り組んでいる。

Q 那岐山麓山の駅について



定森 久芳 議員

A 経営について、しっかり検証しながら頑張ってきたが、赤字になってしまった。新体制として支配人を職員とし経営改善に取り組む

質問

山の駅の料理がフランスの田舎料理や韓国料理に代わると聞いた。その経緯と今後の山の駅の料理をどのように変えるのか。

答弁 町長

フランスからの国際交流員のラファエル氏を料理長に据え、いろいろな国の家庭料理、国際的な家庭料理を中心に、奈義町の食材を活用した山の駅でしか味わえないような料理の魅力を展開していく。国際色豊かな家庭料理で、地元の野菜や、なぎビーフ、黒豚など特産物の素材を生かしたメニューや季節ごとの限定メニューなどを提供する予定である。

質問

レストランのメニューを考えるにあたり、町民や来客にアンケート調査とか意見交換はできなかったのか。

答弁 町長

昨年の12月末まで赤字が続いている。1年かけてゆっくりと、ということでは、山の駅のイメージの悪化につながるので、間髪を入れずにやっ



たところだ。この2か月間でアンケートを取って結論を出すのは難しい。20日からプレオープンなので、アンケート等、意見を聞きながら4月1日の開業に向けて頑張っていきたい。

質問

2月に山の駅で働いている会計年度任用職員6人の内5人がやめると聞いた。経営改善をするにも働く人がいなければできない。そのために労働環境を整えることが必要ではないか。

答弁 町長

新体制において、職員が明るい笑顔で元気に気持ちよく働くことができるように、人材確保に努める。また、お客様を精一杯おもてなしができるよう、職場の環境を整えたい。

Q

日本語教室の開講について

A

奈義町の実情に合った日本語の支援体制を構築する

質問

奈義町には日本語教室がない。近隣のまちにはあるそう。奈義町には外国の方が多く就労目的で来られている。その方々が、日本語を学ぶことで、コミュニケーションが円滑になり、業務指示を的確に理解できる。地震や災害など、緊急時に適切な対応を取るためには、日本語の指示を理解する必要があると思う。ぜひ、日本語教室を開講してもらいたい。

答弁 町長

津山市、美作市、勝央町など近隣の自治体の日本語教室の運営方法を参考にしながら奈義町の実情に合った効果的な支援体制を構築したい。



野々上美智明 議員

Q 町民が各種の特殊詐欺に遭っているか、把握されているか

A 令和4年から6年までの3年間で、町内で2件の詐欺被害が発生していると承知

質問 町民が各種の特殊詐欺被害に遭っているか。また、闇バイトなどに勧誘されそうな事案の発生について把握されているか伺う。

回答 町長 令和4年から6年の3年間に町内で2件の詐欺被害が発生していると把握している。年に2回程度、美作警察署長から、交通事故を含め各種の犯罪等の報告を受けている。

質問 町民が特殊詐欺被害に遭わないための、町の取り組みを伺う。

回答 町長 防災行政無線や奈義町アプリ等で注意喚起を行っている。また、通話を録音する機能付きの電話購入費用の一部助成を行っている。さらに社会福祉協議会や民生委員さんと連携して、被害防止の啓発活動に取り組んでいる。

質問 町民や町出身の青少年が闇バイトに加担しないようにするため、町の取り組みを伺う。

回答 町長 闇バイトは、犯罪

組織が巧妙な手口で若者を勧誘し、知らぬ間に犯罪に加担させる極めて悪質な行為だ。町としても強い危機感をもって対策に取り組みたい。具体的には学校等でのSNSを通じた勧誘の実態や危険性を正しく伝える教育等の実施、児童生徒が気軽に相談できる体制の整備が必要と考えている。また、家庭でもスマートフォンやパソコンの適切な使用の管理や情報教育をしていただきたいと考えている。

岡山県警察 特殊詐欺対策通信 令和6年12月末					
特殊詐欺発生状況（※SNS型投資・ロマンス詐欺は含まれません）					
12月中	件数	金額	1～12月	件数	金額
R6年	36	約1億8,250万円	R6年	197	約6億3,240万円
R5年	14	約1億980万円	R5年	182	約6億780万円
増減	+22	約+7,260万円	増減	+15	約+2,460万円
SNS型投資・ロマンス詐欺発生状況（※特殊詐欺には含まれません）					
12月中	件数	金額	1～12月	件数	金額
R6年	13	約1億2,100万円	R6年	139	約16億7,620万円
R5年	4	約2億2,050万円	R5年	30	約3億8,660万円
増減	+9	約+9,950万円	増減	+109	約+12億8,960万円

岡山県の詐欺被害状況（令和6年末）

Q 移住を決断する最後のひと押しは

A 住んで楽しい、生活を楽しめること

質問 SDGsのついでで、奈義町への移住を検討しつつも断念された方がいたと紹介された。このことから、移住を決断する最後のひと押しは何か、伺う。

回答 町長 移住希望者が移住先に求めるニーズは多様だ。その中で奈義町が選ばれるためには、多様なニーズに対応する様々な施策に取り組み、その結果として住んでみたいと思える魅力的なまちにし続けることが不可欠である。財政的に難しいこともあるが、その中で私の移住を決断する最後のひと押しは、「住んで楽しい、生活を楽しめる」ことだと考える。移住希望者の方に奈義町での暮らしを自分の目で見て、確かめていただくことが重要と考えている。

Q 山の駅に大規模な設備投資が必要では

A まずは収支の黒字化が一番であるが、いずれは施設整備も検討したい



小阪 四郎 議員

質問

山の駅は設置されてから長い時間が経過している。今後の集客増を目指すためにも、大規模な施設改修が必要ではないか。また、家族連れに来ていただくための新たな施設を設置するなど考えてはどうか。

答弁 町長

山の駅は平成13年に開設し、約24年が経過した。現在、経営改善に向け、鋭意努力している最中である。収支の黒字化が一番だが、集中的に施設改修も必要な時期に来ている。いずれは、補助金等を活用しながら家族連れ向けの施設整備も検討したい。

質問

赤字の原因は人口減だと思う。集客力と滞在時間を延ばす方法を考えることが大事である。そのためには家族連れを呼び込む。天空ブランコ、天空のフォトフレーム、夏場は足冷やしベンチ、天空すべり台の設置などを行えば、山の駅を充分楽しんで帰ることができる。そういったことを考えて投資しては

どうか。

答弁 町長

家族連れが来て、若い人も子どもさんも楽しめる施設にし、高齢者の皆さんも併せて、もう一つ要素を付け加える必要があると思う。インクルーシブ遊具を設置も一つの方法であると思っている。今すぐに大型の投資はできないので時間をいただきたい。



改修が必要な山の駅

質問

Q 畜産農家を守るため、町の援助が必要では
A 必要に応じて支援対策を行いたい

菜の花米は耕畜連携の象徴だが、昨今の畜産を取り巻く環境は厳しい。畜産農家を守るための援助が必要ではないか。

答弁 町長

将来にわたる農地の維持や農業の持続的発展のためにも耕種と畜産の農家は共存共栄の存在である。必要に応じて支援対策を検討していきたい。



耕畜連携の有機センター



須一 玲子 議員

Q 70周年を迎えて、今ある施設を大切に、何か対策は

A 公共施設を適切に管理し、将来的な更新や統廃合を計画的にする方針を定めている

質問

町は地域おこし協力隊と

Q 地域おこし協力隊と町の連携は
A 隊員、地域住民、町が信頼関係を持って進めることが重要

質問 一期一会、たくさんの方が奈義町に来られている。今ある奈義町の施設を大切に、町の良い所を伝えてほしいが、何か対策はあるか。

答弁 町長 本町には行政視察や各種イベント、観光スポットへの来訪など、多くの方々に来ていただいております。奈義町の魅力や良さを知っていただくことはとても重要であると考えています。なかでも、公共施設を適切に維持管理していくことは、大切であると考えています。今後、中・長期にわたって公共施設を適切に維持管理し、将来的な更新や統廃合を計画的にするための方針を定めています。

連携して仕事ができているか。現状はどうか。

答弁 町長 意欲的で地域の信頼関係を築ける人材を採用し、活動支援、定着支援に努めています。現状は、3名定住されている。

Q ナギフトカードの町外者カード発行について
A 町内8か所で発行することができる

質問 町外者カードの発行の続きについて伺う。

また、高齢で施設に入所されている方のカードの残金や使用期限のあるものへの対処は。

答弁 町長 町外者カードは町内8か所で発行することができます。発行の際には運転免許証やマイナンバーカードの持参をお願いしている。

高齢者の利用については、一部使い切っていない方もいるため、今後も様々な方法で広報、



周知に努めてまいりたい。

Q 新年度の物価高対策について

A 不足なら補正予算で対応したい



森藤 政憲 議員

質問 新年度（令和7年度）予算の新規事業に、物価高対策がないのではないかと。

答弁 町長 暮らしを守る立場で予算編成をしているが、不足ならば、補正予算で対応したい。

Q ALTの業者選定に問題があるのではないかと。

A 法令等に基づき取り組んでいる。

質問 令和7年度はアチーブゴール社と随意契約を結び、その委託料が計上されている。この随意契約に大変疑問を持っている。町の財務規則に違反しているのではないかと。

答弁 総務課長 地方自治法施行令、それに対応する本町の財務規則に基づき随意契約をする事にしており問題はないと考えている。

質問 法律で派遣業者はマージン率を公表しなければならぬが、ALTの随意契約の相手で

ある（株）アチーブゴールは、公表していない。これは法律違反ではないかと。

答弁 町長 もし、公表されていないようなら指導をしたい。

質問 中間業者への委託料は地方交付税の対象にならないと思うがどうか。

答弁 町長 委託では交付税の対象とならない。しかし、算定基準では、ALT1人あたり482万円程度が交付される。

質問 482万円は人件費の部分が対象で、業者の委託料は地方交付税の対象とならないのではないかと。

答弁 町長 普通交付税は一般財源であり、我々がどう使おうと問題はないと考えている。

Q 政策の決定過程がオープンになっていないが

A 努めてそういう過程も示していきたい

質問 ALTの時も、今回の山の



山の駅・コテージは利用者に好評ですが…

の駅のレストランの問題にしろ、その決定過程がオープンになっていない。町民参加で政策決定をすべきではないかと。

答弁 町長 丁寧、慎重な情報の提供も必要と考えている。努めてそういう過程も示していきたい。

令和6年度後期分政務活動費報告

(令和6年10月～令和7年3月)

議員氏名	収支報告額（実績） 単位：円					支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	資料購入費	広報費	合計		
定森久芳		21,068	5,270	7,800	34,138	34,138	「定森ひさよし新聞」発行他
芦田元			10,230	50,000	60,230	60,000	「芦田はじめだより」発行他
岡部英生			6,110		6,110	6,110	「現行自治六法」他購読料
小阪四郎			27,686		27,686	27,686	「地方議会人」他購読料
森藤政憲	580		3,410	15,530	19,520	19,520	「森藤まさのり議会だより」発行他
計	580	21,068	52,706	73,330	147,684	147,454	

※その他の議員は、今回使用していません。

議会構成決まる

(令和7年3月5日)

議長	岡立
副議長	上原伸介

◎委員長 ○副委員長

常任委員会	
総務	まちづくり
◎ 森藤 政憲	◎ 中井 泰洋
○ 野々上美智明	○ 須一 玲子
岡立	上原 伸介
小阪 四郎	岡部 英生
芦田 元	定森 久芳

議会運営委員会	議会広報委員会
◎ 小阪 四郎	◎ 中井 泰洋
○ 芦田 元	○ 芦田 元
森藤 政憲	小阪 四郎
中井 泰洋	定森 久芳
	野々上美智明

監査委員
岡部 英生

特別委員会
演習場対策
◎ 岡部 英生
○ 野々上美智明
外議員 8名 (議員全員で構成 (議長を含む))

組合議会議員

議会名	氏名	
津山圏域消防組合 (1名)	小阪 四郎	
勝英衛生施設組合 (2名)	芦田 元	定森 久芳
勝田郡老人福祉施設組合 (2名)	須一 玲子	野々上美智明
津山広域事務組合 (1名)	中井 泰洋	
津山圏域資源循環施設組合 (1名)	森藤 政憲	

正副議長就任

議長あいさつ



立

議長
岡

このたびの3月定例会において、皆様のお信任を賜り議長に就任させていただくことになりました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さをひしひしと感じております。議会の仕事は、まずは奈義町民が安

心、安全に暮らせるために尽力すること。そして、住み心地の良い町にしていくことです。町民皆さんからたくさんの声を聞き、進む方向を見い出さなければなりません。そのために、しっかりと勉強、活動をしてまいります。議会からの情報もしっかり発信していく必要があると思っています。今後とも、議会に対しご支援ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ



副議長
上原 伸介

このたびの議会構成替えにより、副議長に就任いたしました。ま

ことに光栄に存じますとともに、襟を正して職務をまっとうする所存です。いまや「奈義町」というブランドは全国的に認知されるほどの躍進をみせ、

「全国自治体・視察件数ランキング」では、堂々の全国一位を獲得するに至っています。

この偉業を成し遂げられたのは、これまで培ってこられた、町民の皆様や諸先輩方の弛まぬ努力と研鑽の賜物と存じます。その想いと魂のこもった「奈義町」を、引き継ぎ、またさらに昇華させるべく、議長とともに尽力して参ります。町民の皆様におかれましては、今後とも温かいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、副議長就任のあいさつといたします。

表紙の写真

菜の花と桜のコラボ…春まっ最中

編集後記

那岐山の新緑がひとときわ鮮やかな季節となりました。7年度予算の審議が行われ、新年度がスタートしました。新しい議会構成となり、私たちが議会広報を担当いたします。議会の議論がよくわかるような議会だよりを目指していきます。皆さんのご意見をお待ちしています。(芦田 元)



【編集委員】

委員長	中井 泰洋
副委員長	芦田 元
委員	小阪 四郎
委員	定森 久芳
議長	岡 立